

子ども・子育て支援事業計画 需要量見込みの補正について

ニーズ調査結果を用いて算出した需要量見込みについて、実績等との乖離がある事業について、計画最終年度となる令和6年度の数値を基に補正を行う。

なお、令和2～5年度については、同じ考え方を用いて、人口推計に応じた数値を算出している。

使用した人口推計

	令和元年度 (実績)	後期計画期間				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳	7,157	7,455	7,466	7,525	7,580	7,646
1歳	7,262	7,552	7,517	7,522	7,592	7,661
2歳	7,589	7,485	7,434	7,392	7,404	7,481
3歳	7,645	7,418	7,455	7,396	7,354	7,368
4歳	7,623	7,518	7,322	7,350	7,303	7,272
5歳	7,570	7,480	7,527	7,323	7,354	7,310
0-2歳	22,008	22,492	22,417	22,439	22,576	22,788
3-5歳	22,838	22,416	22,304	22,069	22,011	21,950
0-5歳	44,846	44,908	44,721	44,508	44,587	44,738
6歳	7,269	7,503	7,617	7,672	7,457	7,478
7歳	7,347	7,356	7,626	7,751	7,801	7,572
8歳	7,493	7,445	7,502	7,788	7,904	7,938
9歳	7,220	7,645	7,544	7,612	7,894	8,004
10歳	7,110	7,326	7,743	7,651	7,713	7,992
11歳	7,010	7,175	7,454	7,887	7,783	7,837
6-8歳	22,109	22,304	22,745	23,211	23,162	22,988
9-11歳	21,340	22,146	22,741	23,150	23,390	23,833
6-11歳	43,449	44,450	45,486	46,361	46,552	46,821

子ども・子育て支援事業計画 補正の考え方

(4) ショートステイ事業(子育て短期支援事業)

R6 需要量見込み 【補正後】	R6 需要量見込み 【補正前】	H30 実績	R1 需要量見込み (調整計画)
2,236 人日	507 人日	773 人日	885 人日

ショートステイの利用人数は、区の養護・虐待等相談件数の約 8%に相当する人数であり、一人当たりの平均利用日数は約 10 日となっている。

平成 22～30 年度までの相談件数の平均増加率(年約 12%)から令和 6 年度の相談件数を予測し、その 8%相当人数が利用し、一人当たり平均 10 日利用すると想定して需要見込み 2,236 人を算出した。

なお、児童虐待の予防のためには、時期を逃さず適切に利用につなげる必要があるため、確保の内容については、需要量見込みを上回るよう設定した。

(7) ひろば事業(地域子育て支援拠点事業)

R6 需要量見込み 【補正後】	R6 需要量見込み 【補正前】	H30 実績	R1 需要量見込み (調整計画)
456,509 人日	730,219 人日	-	369,017 人日
80 ヶ所	-	58 ヶ所	61 ヶ所

需要量見込みの年間のべ利用人日については、現年齢において、保育事業の利用を希望しているものについて、ひろばの利用希望がないものとして需要量を算出した。

需要量見込みの箇所数については、令和 6 年度需要量見込みの年間のべ利用人日と現行の利用実績等による確保量との差を、1 ヶ所のひろばで年間 5,000 組が利用できるものとして算出した。

(8) 一時預かり事業

		R6 需要量見込み 【補正後】	R6 需要量見込み 【補正前】	H30 実績	R1 需要量見込み (調整計画)
幼稚園に よる一時 預かり	1号認定	162,164 人日	162,164 人日	-	231,506 人日
	2号認定	380,404 人日	672,335 人日	-	153,919 人日
	1号・2号合計	542,568 人日	834,499 人日	361,055 人日	385,425 人日
一時預かり事業(その他)		266,810 人日	668,382 人日	187,446 人日	210,515 人日

幼稚園による一時預かり(2号認定)の需要量見込みについて、国の手引きで指定されている「週当たり勤務日数×52週」から「週当たり勤務日数×46週」で算出方法を変更するとともに、学校教育の希望が強い2号認定の需要量見込みのうち、保育施設や認定こども園により確保することが見込まれる割合を減じて算出した。

その他の一時預かり事業は、現年齢において、保育事業または日常的な預かり保育の利用を前提とした幼稚園を希望しているものについて、一時預かり事業の利用希望がないものとして需要量を算出した。

(9) 病児・病後児保育事業

R6 需要量見込み 【補正後】	R6 需要量見込み 【補正前】	H30 実績	R1 需要量見込み (調整計画)
28,022 人日	63,946 人日	23,700 人日	27,167 人日

直近の年間利用実績で、最も利用が多い月の利用実績に 12 を乗じて年間利用人数を算出し、キャンセル待ち人数を足し上げた値を現状の需要量とし、そこに保育定員の増加率および病児・病後児保育事業登録者数の増加率を乗じた数値を需要見込みとする。

(10) ファミリー・サポート・センター事業 (就学児)

R6 需要量見込み 【補正後】	R6 需要量見込み 【補正前】	H30 実績	R1 需要量見込み (調整計画)
45,769 人日	198,995 人日	11,720 人日	46,031 人日

利用会員として登録している人のうち実際に利用した人の割合 (23%) を、需要量見込み (198,995 人日) に乗じた数値を補正後の需要量見込みとする。